

さんぼう

# 三方よし

## 第4号

1996/10

### CONTENT

近江商人博物館に学ぶ…………… 2~3  
近江商人活躍の舞台 その① 盛岡…………… 4~5

近江商人のベンチャービジネス 堀井新治郎…… 6  
AKINDOホームページ開設…………… 7

#### 「現代美術が語る近江商人」

“現代美術と近江商人”、近江商人博物館での最初の出会いは、「まず初めに語るうとすることは……」という題名の巨大なオブジェ（表紙写真参照）。ミスマッチとも言えるこの演出に驚きます。しかしそこには現代も生き続けている近江商人の神髄が象徴されているようにも思います。オブジェは近江の歴史をつくってきた私たちの祖先の巨大な魂であり、その鼓動が現代もドクドクと高鳴り、その音が見ている側に伝わってくるのです。

#### ■表紙作品紹介

「まず初めに語るうとすることは……」 北山善夫作品  
細胞は一つの細胞から分割して二つの細胞に増殖し、二つの細胞から四つの細胞、四つから……と増殖し続けます。(中略)  
分割と増殖は学習、模倣と創造であり、社会人もそうだと考えます。一つの始まりから動きだして変化していくその一瞬一瞬はいつでも始まっていますし、その継続とはその連続であります。  
学習、文化、歴史もそうです。作品は永遠に始まるうとする意欲と、意欲の継続を形づくったものです。(後略)

三方よし 「三方よし」は近江商人共通の経営理念。「売手よし 買い手よし、そして世間よし」の精神で地域社会に大きく貢献した。本紙は近江商人を代表する理念を表題としている。



ふるさと探訪ウォーク

# 近江商人博物館に学ぶ



今年の春オープンした、近江商人博物館は五個荘町のでんびんの里文化学習センターの3階にあります。AKINDO委員会としましては、待望の近江商人の資料館です。十分見ごたえのある近江商人の博物館として、皆様にぜひ足を運んで頂きたく、ここにレポート致します。

(レポーターは「三方よし」のボランティア編集員になって頂いた奥井豊治郎さん)

**【近江商人博物館】**  
所在地 〒529-14 滋賀県神埼郡五個荘町竜田 583  
てんびんの里文化学習センター 3階  
TEL. 0748-48-7100 FAX. 0748-48-7105  
入場料／高校生以上大人……200円  
(20名以上の団体150円)  
小学生以上……100円  
交通／JR能登川駅から近江鉄道バスの「八日市行」竜田口下車徒歩10分

今年四月二十七日に開館した五個荘町竜田にある近江商人博物館を一度訪れ勉強したいと思っていた。今回「三方よし」に掲載する機会を得て、夏休みも終わった九月第一週に訪ねた。

**近江商人たちの豪壮な本宅と荘厳な社寺が建ち並び、てんびんの里、五個荘町**

てんびんの里、五個荘町は、日本列島真中の近江の、そのまた中央にあります。まちの四方

は、優美な姿と歴史を秘めた織山などの山々と、湖東第一の大川、愛知川に囲まれた水と緑の豊かな世界です。

この五個荘には、まちの随所に近江商人たちの豪壮な本宅と彼らの寄進による荘厳な社寺が建ち並び、周辺には古代から連続と続く水田の沃野が広がっています。

五個荘町では、私たちの郷土が生んだ近江商人たちの真の姿を、より多くの方々に学んでいただくためにこの博物館をはじめ、多くの施設を公開しています。

いま、天秤棒を肩にした近江商人の姿を見ることは出来ません。しかし、彼らの遺した商人魂を、このてんびんの里・近江



商人博物館の随所で発見してくださいます。

### 映像や模型、レプリカを多く使い楽しく親しみやすい近江商人博物館

先ず吹抜けのエントランスホールがあり、北山善夫氏のオブジェを3階までの高さまで見る。「まず初めに語ろうとすることは……」と云う作品である。この旧きてんびんの里は、また同時に芸術に至るまで時代の最先端を行く里である。近江商

人の精神は、常にOLD is NEWである。

入って直ぐ突き当たりにシースルのエレベータがある。これに乗って博物館のある3階に着く。

エレベータを出ると入場券売場で職員の女性が切符を売って博物館に入れてくれる。勿論一人でしている。

ここらにも近江商人の合理性に気付くが、当地では考えられないでも無く当たり前の事である。入り口を入ると直ぐ正面に、映像ガイドダンスがあり、地理的



に近江商人の発生地や、その昔からの歴史や風俗が次々と現われて来て面白い。ここを入って左手に、先ず古代は都と東国地方とを結ぶ交通の要衝としての地理的な条件や交通網の発達史を解説。また古墳時代・奈良時代の地方と都との交易の様子と、

神崎那衛を再現した模型を展示している。

次に中世は近江の覇者佐々木六角氏と近江商人のルーツ小幡商人を展示。彼らの活躍や栄枯盛衰を映し出す百インチの大型画面の前には、中世の五個荘と観音寺城を二五〇〇分の一で復元している。

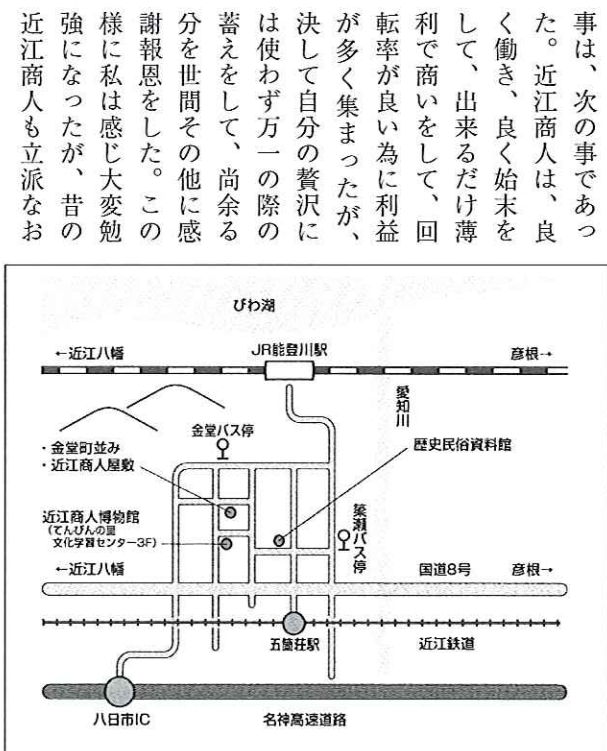
近世は、全国的な商品流通や地場産業の振興など日本経済の近代化に寄与した近江商人たちの、その商法や家訓にみられる商人像と共に、その生涯を辿る人間像など、さまざまな角度から紹介している。

出口に近い壁面は幕末と維新からの近代と、現代に活躍する企業の紹介や、宇宙に雄飛するイメージも作成している。なお、展示室の中央には、座敷と板の間をイメージした三つのコーナーに区分して、内助の功で夫を支えた近江商人の妻たちの日常生活や質素儉約を旨とした食文化、取り扱った商品などを展示している。

### 人との交際を通じて立派な人間になり、子孫に代を継いで行った事に思いを寄せる

近江商人博物館の説明は、何度でも聞くより、「百聞は一見に

如かず」と云う通り、とにかく見に行く事である。筆者は、館内の説明を聞きながら、ゆっくりに見てまわった。その結果、感じた事は、次の事であった。近江商人は、良く働き、良く始末をして、出来るだけ薄利で商いをして、回転率が良い為に利益が多く集まったが、決して自分の贅沢には使わず万一の際の蓄えをして、尚余る分を世間その他に感謝報恩をした。この様に私は感じ大変勉強になったが、昔の近江商人も立派なお坊様やその道一流の人との交際を通じて立派な人間になり、子孫に代を継いで行った事に思いを寄せた。



### 近江商人の金言名句④

#### 先義後利栄(せんぎこうりえい)

義とは、人の行うべき正しい道の意であり、義を先にして、利益を後にすれば栄える。つまり、商いは目先の利益よりも遠きを見てすることが大切であるとの教えである。孟子、老子、朱子などとともに、儒学の祖ともいべき荀子が説いた「先議而後利者栄」の影響を受けたものである。近江商人の精神的基盤が、神仏とともに儒教的倫理にあったことは、その家憲や店則で、神仏に対する帰依を説き、儒教の教えを述べていること、また、大福帳の冒頭に「神需仏、謹んで礼拝」と書き記したものがあることからもうかがわれる。

# 現在も各界で活躍する近江の人たち

高島から村井新七が盛岡の地を訪れたのが慶長十五（一六一〇）年、近江からの最初の商人といわれている。その後、主に高島郡から盛岡へ出掛けた近江の商人は数知れない。そして、現在も盛岡を中心とする岩手県内で多くの近江商人の末裔たちが活躍している。高島郡安曇川町では、あきんどフオラムの開催がきっかけとなり以後、盛岡との交流が深まり、本年は安曇川に俎上してきた鮎が盛岡の中津川に放流され、築城四〇〇年の記念事業に花が添えられた。高島商人が活躍した盛岡の歴史と現状をみつめてみる。

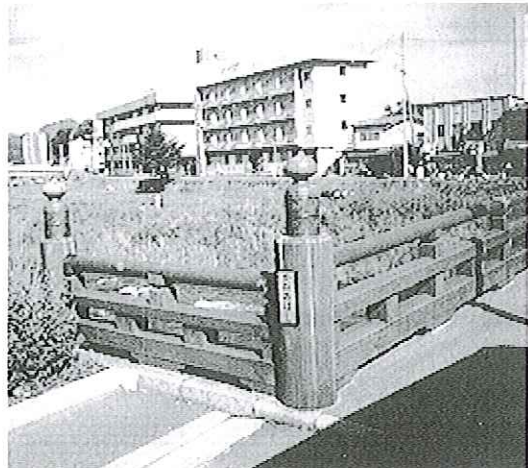
平成三年に大津市で開催されたあきんどフオラムに先駆け、岩手滋賀県人会は「近江商人―東北の末裔たち―」を出版し、現在東北でご活躍の諸氏から近江商人とご自身との関連お

よび先祖のこと、家の系譜など貴重な史料の収集がされてい

「像」という企画展が開催され

こうして盛岡の城下町に受け

村井市左衛門は新七から独立



かみのはしのたもとの「ワラジ脱ぎ場」

「盛岡に城下町が生まれて四〇〇年。厳しい自然と激動の時代に生きた先人たちの努力の積み重ねによって盛岡は発展してきました。街を歩けば、旧時の店舗や旧家が多く、歴史と人物が息づいている古都です。

盛岡で近江商人たちが力を付けてくると、藩は財政の運営に商人の資金力を頼り、名字帯刀を許可し、御用金の納入を命じ

たり財政運用に当たらせ、やがて藩札の発行や鉱山の開発を任せました。その中で手腕を発揮した商人も多くありました。しか

## ●村井・小野一族の盛衰

族の小野権兵衛や村井市左衛門

勢利として明治の初期まで隆盛を誇ったのです。

## ●盛岡城下町づくりと近江商人

の代表として「近江商人群像」をみたいものです。（中略）近江商人たちは分家やのれん分けをして店をふやし街を形成しその販路を広げますが、その実力と発展は目ざましく、東西を結び、商品の流通と文化や人びと

の交流を密にして盛岡の発展に寄与してきました。（後略）

内和

分家やのれん分けで大きく増大した店舗を本店指導による物流の組織の拡張を図り、生産から流通までの経済システム全般に関係した同族的団結の制度。本店を頂点とするピラミッド型で命令系統が明確化されており、支店同志で業種が重ならないように協定し、営業成績の優劣でお互いに協力しあい、盛岡における近江商人の強大な勢力を築いた。



現存する井弥商店の建物

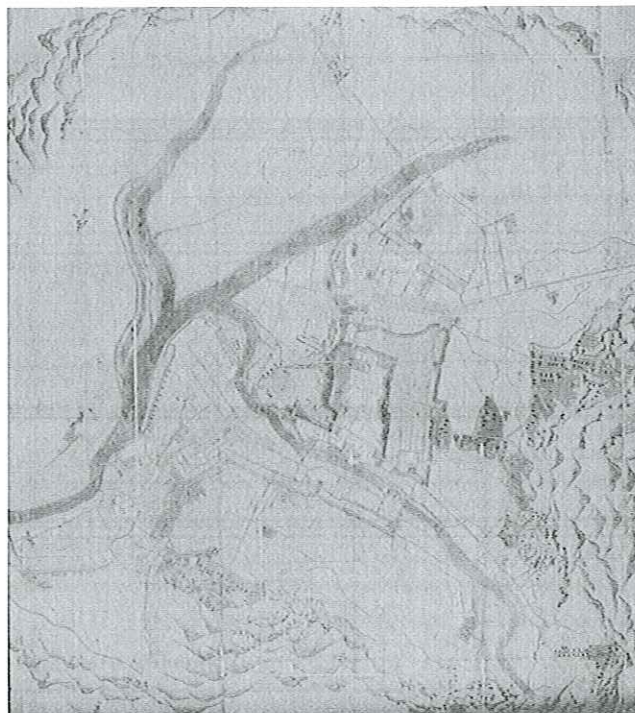
し、こうした藩の要請が村井・小野一族に次第に大きな災いを招くようになってきたのです。盛岡藩は「七福神札」という藩札を発行し、その発行所総裁

近代資本社会の明治から現代まで

幾多の受難を乗り越えて生き残った近江商人たちは、店制の改革を図り、新しい事業に乗り出しました。盛岡商法会議所(のちの商工会議所)は瀬川安五郎を中心に設立され、昭和初期の銀行再編成までの間、盛岡では、佐々木卯太郎、佐藤清左衛門、小野慶蔵ら近江商人が創設した第九国立銀行、盛岡銀行、岩手銀行がしのぎを削っていたのでした。

今も村井新七が店舗を構えた中津川に架かる上の橋付近には「近〇〇」という商店や企業が存在しています。これは、近江屋〇〇が、「近〇〇」という屋号となったもので、「近藤」「近勘」「近伝」などの屋号が現在も使われており、盛岡の中心街には旧岩手銀行や村井家系列の「井弥」の建物が現存しています。伸展めざましい東北の中心地盛岡の地の随所に近江商人の

に村井市左衛門を迎えましたが、乱発したため金融恐慌を招き、天保の飢饉と重なり村井をはじめとする藩内の質屋は破産状態に追い込まれたのです。さらに、藩への貸付金の返済を迫った小野善助・小野権右衛門店の盛岡からの追放と近江系商人の両雄はかつての栄華の面影が失せていくのでした。明治に入ると銅山の経営が強制的に明治政府に没収、そして最大の受難は、小野組閉店事件でした。それでも組織がなくなったものの、近江系の人材は残り、一族や店員にその精神が引き継がれ古河市兵衛(古河鉱業の創業者)や瀬川安五郎などに引き継がれていったのでした。



盛岡の古地図

歴史が刻まれており、岩手県内には現在も末裔の方々が、各方面で活躍されています。

昭和四十九年に盛岡滋賀県人会が会員二十四名で誕生しました。創設にご尽力された植本一夫氏や当時の滋賀県人会連合会の専務理事の国領嘉一氏もすでに鬼籍に入られました。現在は、岩手滋賀県人会と改称し、岩手大学教授の駒井健一氏を会長に五十余名の会員を有するに至っています。全国二十有名の各地滋賀県人会の中でも最も活発に滋賀県との交流が行われている県人会の一つでもあります。高校卒業を目前に故郷安曇川

町北船本を早朝に発ち、親戚を頼って盛岡に向かい、現在は盛岡市内でスーパーマルイチを経営されている駒井健治氏は最後の近江商人と自負されている。そして今、「当時は保守的だと思っていたが、日本古来のしきたりを受け継がれている近江のしきたりは大きな意味があると思う。そして今も、先人の努力を偲ぶ時、私の心は奮い立つのです」と語っておられる。世代が交代していく中でも、盛岡の近江出身の人びとの間では、先人の活躍の様子や厳しい条件の中でかち得た努力が語り継がれていくことでしょう。



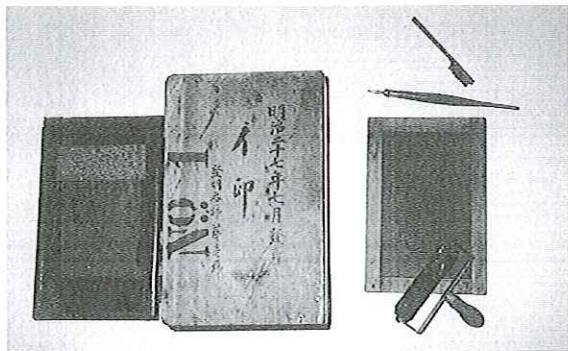
■堀井耕造



■堀井新治郎

〔**国家文運の前途を憂慮し発明へ**〕  
堀井新治郎は安政三年（一八五六）に駕輿村（現竜王町）に

〔**蒲生郡堀井家の系譜**〕  
蒲生郡岡本村の堀井家の祖先は近江源氏佐々木氏家臣であったが、織田信長に滅ぼされて以後農商に転じ、農業に従事しながら日野に商座を持ち麻・綿類・呉服・太物を扱っていた。元文年間には関東へ麻布の行商を始め、やがて、埼玉・栃木で酒・醤油の醸造業の出店を設け、さらに質屋・売薬業など多角経営を行い隆盛をみた。代々彦四郎と名乗っていたが、幕末の政情不安に加え、出店での盗難や番頭の不正により明治六年（一九七三）にやむなき閉店に至った。しかし、家業を断つにしのびず、関東の各出店は閉店したが、岡本村の自家において油屋彦四郎として絞油商を開業した。



生まれ製茶巡回教師であったが、明治十六年八月に堀井家に入家。滋賀県勸業員として各地を視察教導していた。官職にあつて煩雑な文書事務処理に対して「何らかの簡便な処理方法によらないと、不利不便のみならず国家文運の前途に憂慮すべきものがある」と痛感していた。

〔**わが国初の謄写版の誕生**〕  
赤貧に喘ぎながらも、明治十七年に染物の置型の捺染法にヒントを得て強力な雁皮紙に蠟を塗り、鉄筆で文字や図形を描く方法が完成した。「謄写版」という名称は「戸籍謄本」という文字から連想して命名され、七月には堀井謄写堂を東京神田

そして明治二十六年シカゴの万国博覧会視察の機会があり、ここで「エジソンのミメオグラフ」と出会った。発明王エジソンとも出会い、外国人の発明した器械を見て大いに啓発を受けたが値段が高く、実用的でないと察知し、帰国後職を辞した耕造とともに東京に居を移して研究に励むこととなったのである。  
郷里の土地家財を売却しての新しい事業への取組は決して並大抵のものではなかったが、新治郎父子を駆り立てたのは堀井家の再興への情念であった。

蒲生町に残る旧堀井家は、蒲生町に寄付され、その修築・保存の方向へと進められている。

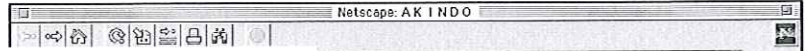
〔**時代を先取り近江商人の精神を引き継ぎ発展**〕  
明治時代に現代でいうOAの先駆けの発明をした堀井父子は時代の要請に十分に対応した行動を展開していた。数百年続いた毛筆による文章処理がインキとペンに代わり複写が増大した時代の趨勢を敏感に察知しての発明と開発が堀井謄写堂のあゆみであり、海外にも支店を設けるに至っていた。さらに機器や材料の販売と同時に実演や講習会を開催して多くの孔版技術者の養成にも大きく貢献していた。蒲生町に寄付され、その修築・保存の方向へと進められている。

**謄写版を発明し製品化した**  
**堀井新治郎**  
七里源一（滋賀県教育委員会）

に設立した。そして特許第二四九九号を受けた。堀井父子は第一号機を抱えて、先祖たちと同様に全国を行脚した。地方官僚であった新治郎は市町村役場をはじめとする地方官庁を中心として販売をした。  
創業と同時期に勃発した日清戦争も堀井父子にとっては販路開拓に大きく影響し、陸海軍省は軍事通信上に謄写版は最適と判断し採用した。続く日露戦争はさらに需要を増大させた。



# AKINDO委員会の インターネットホームページ11月中旬開設!



[<http://www.biwa.or.jp/~akindo/>]

AKINDO委員会のインターネットホームページが11月中旬にオープンします。全国の人に、世界の人にアクセスして頂き、近江商人とその理念を幅広く一般の方々に知って頂くことを目的としています。「近江商人」の国際性やチャレンジ精神は、日本経済の土台をつけた開拓者として高い評価を得ています。地域の誇りである「近江商人」の真の姿を知ることがこれからの国際化社会・情報化社会へ向けて大きな意義をもっていることを、このホームページから読み取って頂き、AKINDO委員会の目的を理解して頂ければと思います。てんびん棒からインターネットに変えた近江商人。その姿を多くの方々に見て頂けるよう運営にも力を入れて参りますので、皆様のご意見、ご要望などをお聞かせ下さい。今後の参考にさせていただきます。



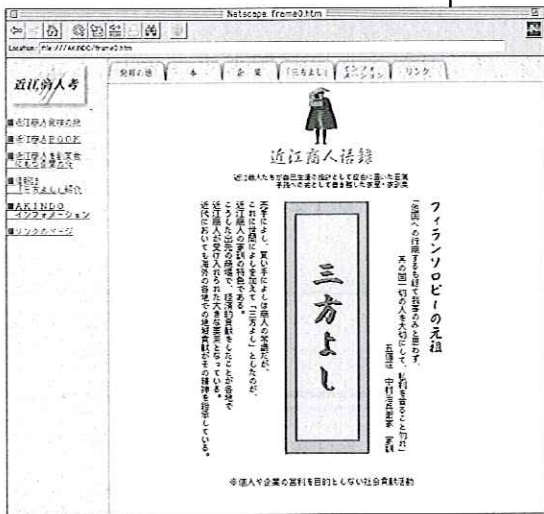
【AKINDO会誌 制作】

### AKINDO会議について

「近江商人」をキーワードとして、「人材育成」「交流ネットワーク」「近江商人顕彰」などの事業を展開しようとする平成4年に黒や経済団体などで構成するAKINDO会議が設立。セミナーの開催、交流事業などを進めてきた。AKINDO会議は近江県内の若手経営者などで構成する推進組織として、AKINDOの事業を通じて本県の活性化、イメージアップに向けた取り組みを市民運動として展開しています。

FireFox2.0以上でご覧下さい

[START]



### 【ホームページ内容について】

#### 《ホームページの概要》

本ページでは大きく3つのテーマでホームページが作られています。一つは近江商人発祥の地や、近江にかかわる本の紹介、さらに本紙「三方よし」を紹介することによって、近江商人について興味を持って頂くページ。そして、滋賀にかかわる全国の企業家のネットワーク作りとしての役割を担う場としてのページ。さらに残る一つはAKINDO委員会の今後の事業やイベントリポートなど、様々な事業をインフォメーションとしてタイムリーに紹介するページ。

以上、『AKINDOの交流』『情報化の促進』などのテーマを含む、6つの項目（下記参照）から作られています。

#### 《6つの項目（メインメニュー）内容》

トップページから選択する項目は【近江商人発祥の地】【近江商人BOOK】【近江商人を創業者にもつ企業の今】【「三方よし」の紹介】【インフォメーション】【リンク】の6つの項目がメインメニューとして提示されています。近江商人発祥の地ではさらに《発祥の地》《近江商人》《資料館》の3つの項目（サブメニュー）があります。《発祥の地》では高島商人、八幡商人、日野商人、湖東商人の発祥の地がそれぞれ現在の地図で描かれており、地図から近江商人発祥の地の町の様子を伺い知ることができます。《近江商人》では、各発祥の地から出た近江商人の紹介。《資料館》では各発祥の地にある近江商人の生家や資料館を具体的に紹介しています。近江商人BOOKは近江商人に関連する本を紹介。近江商人を創業者もつ企業の今は、近江商人を創業者にもつ企業で現在も全国的に活躍している企業を、「三方よし」の紹介では今まで発行した「三方よし」の内容を紹介しています。インフォメーションでは《AKINDOの基本構想》《イベント報告》《イベント紹介》《現代版AKINDOへの登録》の4つの項目（サブメニュー）があります。《AKINDOの基本構想》は「AKINDO」の意味、「AKINDO委員会」設立の目的を掲載、《イベント報告》はAKINDO主催事業のイベントに参加されていなかった方に対しても、写真を取り入れながらイベント内容を分かりやすくレポートしています。《イベント紹介》は今後のAKINDO委員会の事業を紹介しています。《現代版AKINDOへの登録》は全国に広く活躍している滋賀県に関わりのある方を登録して頂くページを掲載しています。リンクコーナーはAKINDOにかかわる全国のホームページに繋がっていますので、興味のあるホームページを見ることができます。

以上6つの項目をメインメニューとして画面の上に、それぞれの細かな項目をサブメニューとして画面の左側にありますので、見たい項目がすぐ引き出せるよう検索しやすくなっています。

# お知らせ

## 女性のための起業家セミナー開催

### ～大きなエールとノウハウを貴女に～

長引く景気低迷のいま、新しい産業の創出が望まれています。AKINDO委員会では、とくに起業意欲の高い女性のためのセミナーの開催を計画しました。

既存の利益第一主義のビジネスとは異なった、より一層生活に密着した「よりよい社会をつくるために」というビジネスマインドを持った生活環境型のビジネスの創出を目指しています。社会参加を望んでいる方、新しいビジネスをお考えのあなたに、熱きエールを送り、創業へのアプローチのお手伝いができることを考えております。お問い合わせの上、セミナーにご参加をお待ちしています。

### 「女性のための起業家セミナー」

日時 平成8年11月30日(土)・12月1日(日)  
会場 近江八幡市鷹飼町  
滋賀県立婦人センター  
受講料 10,000円 (資料代・昼食代含む)  
定員 30名  
応募資格 起業をめざす女性  
■お問い合わせ・お申込み先  
大津市京町4丁目1-1  
滋賀県庁内AKINDO委員会  
TEL.0775-23-4641

### 滋賀大学経済学部附属史料館特別企画展開催 近世近江の商人―その経済活動と商いの特徴― 抱負な館所蔵の古文書五〇点を展示、講演会も併せて開催

史料館設立当初からの研究テーマである近江商人の活躍の足跡と商いの特徴を明らかにする企画展で、常設展示の行商用具や商品の実物なども見学でき、当時の近江商人が身近に感じられる内容となっている。

中でも今回はとくに、史料館最大の収蔵史料である日野「中井家」の一万八千余の中から経営の実態を如実に記している文書が展示される。また、中山道鳥居本宿の名物「赤玉神教丸」で知られる有川家の贗薬をめぐる騒動の一件の史料が陳列されている。

期間中には、滋賀大学産業共同研究センターとの共催で、関連の講演会も次の日程で予定されている。

#### 〔講演会〕

◆「松前へ進出した近江商人」  
和歌山大学 上村雅洋氏

十一月九日(土)一三時三〇分

#### 〔シンポジウム〕

◆「近江商人とベンチャー精神」

パネリスト

(株)黒壁 伊藤光男氏

滋賀大学 戸田俊彦氏

小川 功氏

宇佐美英機氏

●コーディネーター

滋賀大学 藤村博之氏

十二月六日(金)一五時

いずれも会場は滋賀大学経済学部講義室

#### 〔滋賀大学経済学部附属史料館〕

彦根市馬場二丁目1-1

☎〇七四九-二七一〇四六

開館日 毎週水・金曜日

九時三〇分～十六時

### 近江商人カレンダー 平成9年度版発行 (ヨコ10cm×タテ21cm)

ただいま予約申込み受付中  
1部 320円 (送料込)

例年好評の近江商人家訓カレンダーを本年も発行いたします。家訓や商法に続いて本年は近江商人のベンチャー商法をとりあげ、進取の気性で果敢に活躍した近江商人をとりあげています。カレンダーご入用の方は左記までお申込みください。

■お問い合わせ・お申込み先  
TEL.0775-23-4641  
滋賀県商工課内  
AKINDO委員会

### てんびん棒

五個荘町のまちかど美術館が本年も町内一帯で展開されました。本年は九月二二～二三の両日開催で、あいにく台風の影響で風の強い日となりましたが、AKINDO委員会では探訪ツアーを実施しました。

普段は公開されることのない商人屋敷も公開され例年多くの人で賑わいを見せられています。ポランテアアイデアの皆さんの丁寧な案内も大変好評で、落ち着いた町並みに現代の若い芸術家たちの作品が飾られているのも非常に溶け込んだ催しとなっています。滋賀県は

古くからの有数の歴史と文化資源が現在にひきつがれている土地ですが、過去の文化遺産を大切にすると同時に、新しい時代に歴史文化遺産をどのように活用していくかが、大変重要な問題です。

AKINDO委員会は、近江商人の輝かしい無形文化財的な理念を新しいまちづくりに活用していく手法を模索しつつ事業を展開してきました。そして本年は、女性が事業を起こすためのお手伝いができるように、女性のための起業セミナーの開催を計画しました。かつて近江商人の妻たちは留守宅を守り、人材教育に大きく貢献してきました。現在も人材教育の分野での女性の活躍は目ざましいものがあります。分野を問わず大いに社会で実力を発揮してほしいものです。